



早宮小だより

平成31年3月8日
練馬区立早宮小学校
臨時号

☎03(3993)5165 FAX03(5984)0934

ホームページ URL : http://www.hayamiya-e.nerima-ty.ed.jp/mobile_site/mobile_site_top.html

カメラ付き携帯電話用 QR コード

健康で明るい子ども よく考えて工夫する子ども 思いやりのある子ども



平成30年度学校評価

校長 須藤 田鶴子

保護者・地域の皆様には日頃より本校の教育活動に、ご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。
平成30年度の学校評価の結果をお伝えいたします。皆様からいただいた評価は次年度の教育活動に生かして参ります。

1 対象者 本校児童、保護者、教職員

2 評価の回収率

児童 92.5%(461人/498人) 保護者 88.1%(439人/498人) 教職員 100%(22人/22人)

3 自己評価及び学校関係者評価結果・考察

【今年度の学校教育目標】

人権教育の精神を基盤として、心身共に健康で調和のとれた人格の形成を目指し、広く国際社会や地域社会の信頼と尊敬が得られる人間性豊かな児童の育成を目指して、次の教育目標を設定する。

○健康で明るい子ども ○よく考え工夫する子ども ◎思いやりのある子ども

☆本年度の重点行動目標

「思いやりのある子ども」豊かな人間関係を育む教育活動の展開を目指す。

【上記を受けて目指す学校・目指す子供】

<目指す学校>

◇全ての子供の心と体が豊かに育つ学校

◇確かな学力が身に付く学校

◇保護者・地域と共生する学校

<目指す子供：友だち大好き・自分も好き 早宮の子>

☆自己肯定感をもち、周囲との関わりの中から学べる子供

☆自分の思いや考えを伝えることのできる子供

☆他者理解に努め、思いやりの心をもって共に生きようとする子供

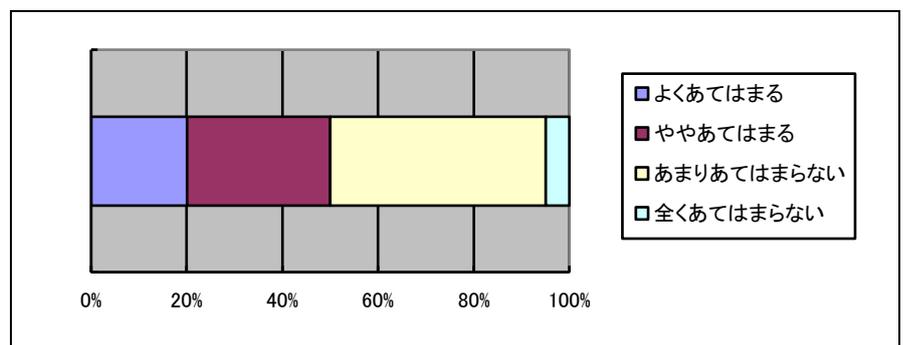
【グラフの見方】

[評価基準]

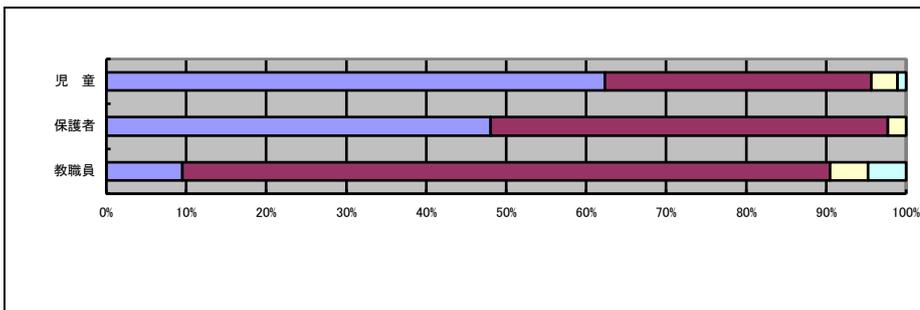
上段：児童

中段：保護者

下段：教職員

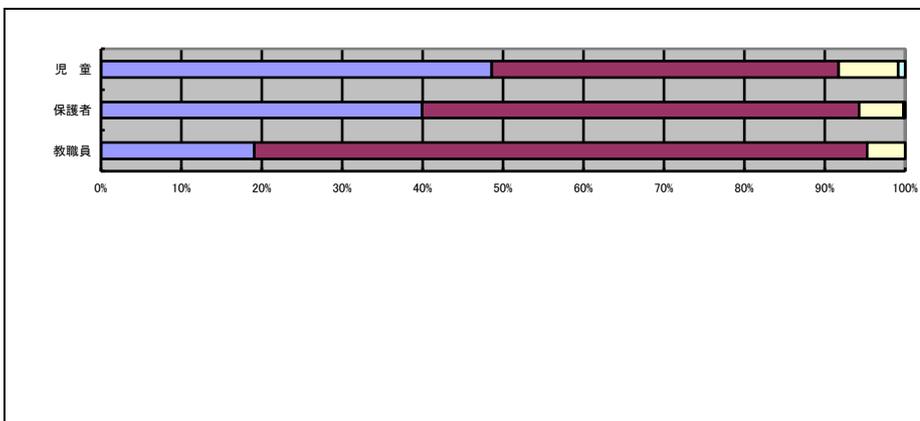


(1) 学校は、分かりやすく楽しい授業を工夫している



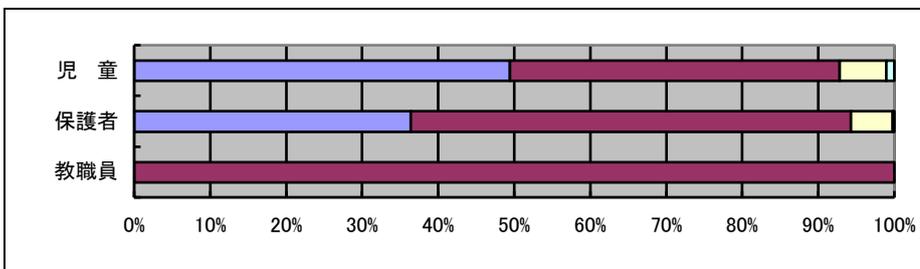
・およそ95%の児童が授業を楽しんでいると感じています。分かりやすい授業の工夫という点についても多くのお褒めの言葉をいただきました。「授業が分からない、楽しくない」と回答している児童について個別指導などの支援の手立てを考えていくとともに授業改善に努めます。

(2) 子供たちは、学習規律を身に付け落ち着いて学習している



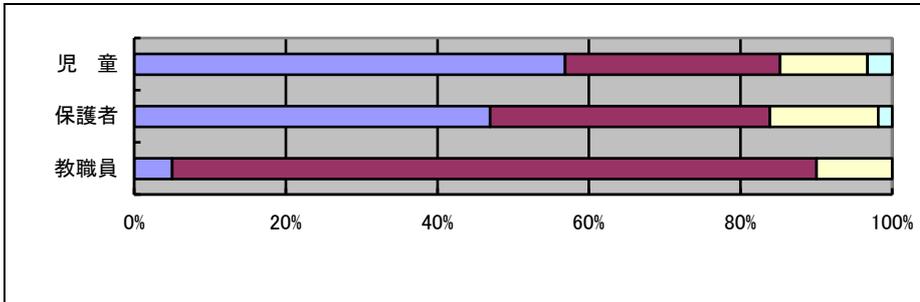
・児童はおおむね学習規律を意識して学習に取り組んでいます。しかし、児童によっては学習活動に集中しきれないときがあります。特に姿勢の悪い児童が多いのは課題です。全体が落ち着いた雰囲気の中で学習に臨めるよう、「早宮の子のやくそく」の確実な定着を引き続き図っていきます。各ご家庭ではお子さんの学習用具が「早宮の子のやくそく」に添ったものか、お子さんと時々ご確認ください。

(3) 子供たちは、学習したことがよく身に付いている



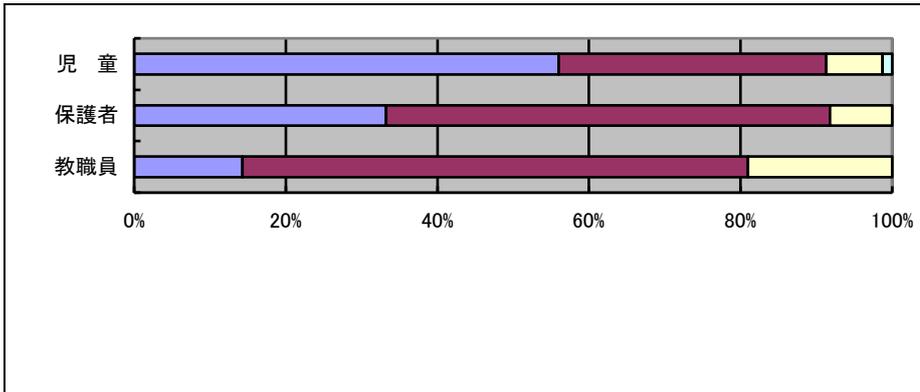
・点数にこだわるのではなく、これからは、何を理解しているのか、何ができるか、学んだことをどのように生かしていくのが大切になります。主体的に取り組めるような授業を工夫していきます。

(4) 子供たちは、家庭学習（学年×10分）の習慣が身に付いている



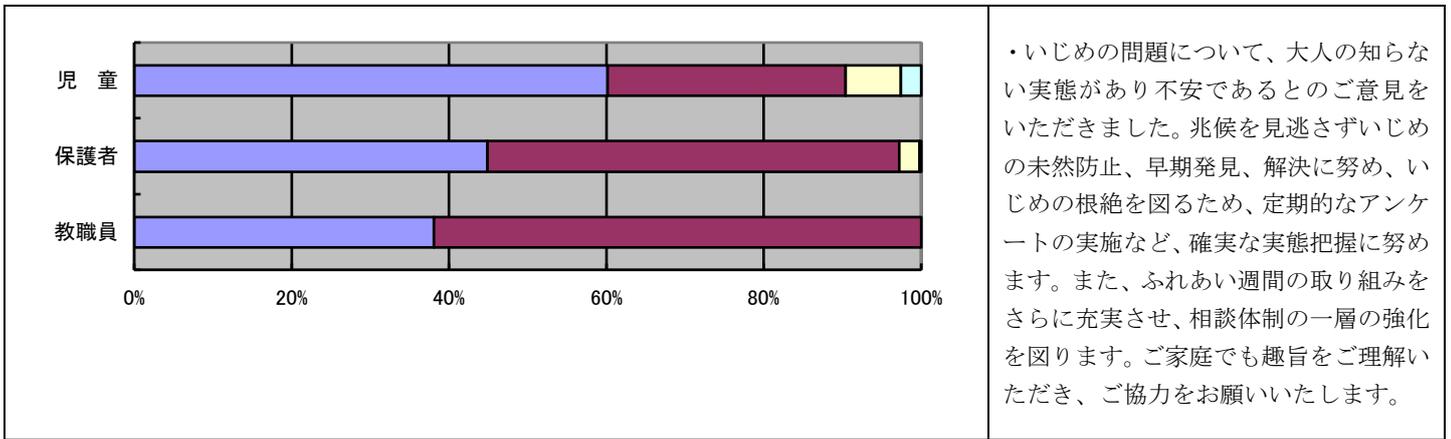
・8割以上の児童が宿題にはきちんと取り組み、提出も良好です。しかし、宿題しかやらないというご家庭の意見も多数寄せられました。自分で決めた課題に継続して取り組む姿勢が確実に身に付くよう、具体的な課題の取り組み方、学習の分量などを個別に指導していきます。

(5) 子供たちは、挨拶や言葉遣いなど基本的な生活習慣が身に付いている

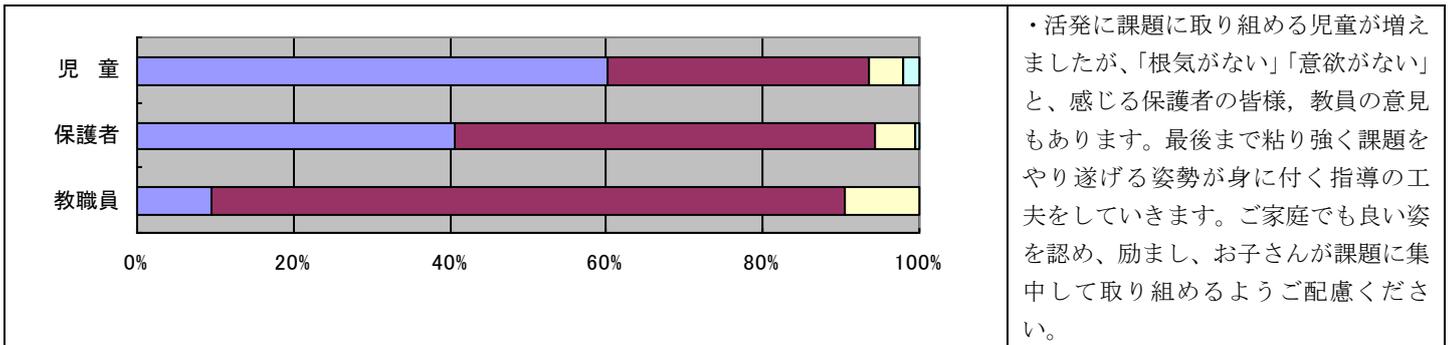


・多くの児童が声を出して挨拶するようになり、お褒めの言葉もいただいています。一部の高学年ではすれ違ってそのまま通り過ぎるような姿も見られます。一方、言葉遣いについては、友達同士のときなど、乱暴になりがちです。時と場に応じた言葉遣いについて、継続的な指導をしていきます。ご家庭でもお話しいただき、声を掛けてください。

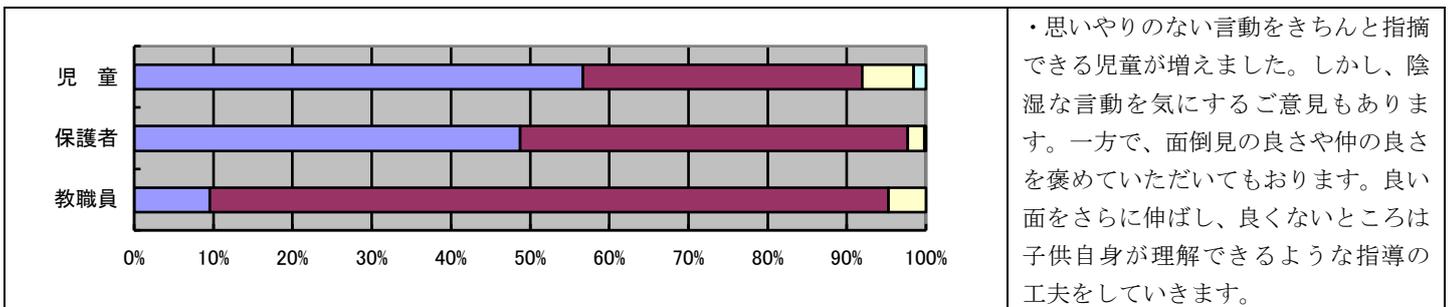
(6) 学校は、ふれあい月間などの取組を通して、いじめ防止や教育相談体制の強化を図っている



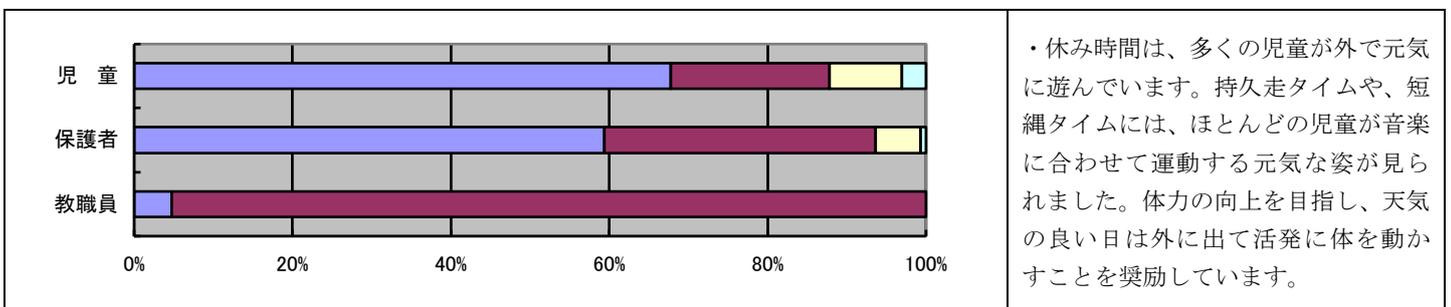
(7) 子供たちは、困難な課題にも最後までがんばって取り組んでいる



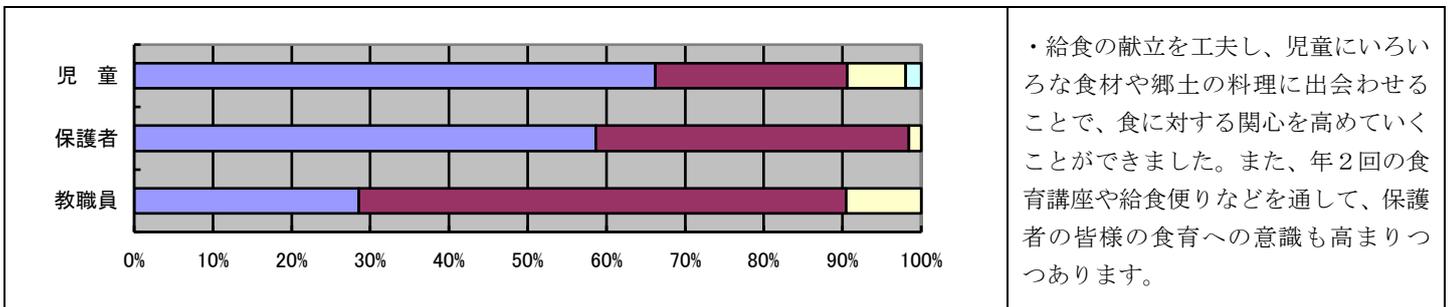
(8) 子供たちは、思いやりの心をもって行動している



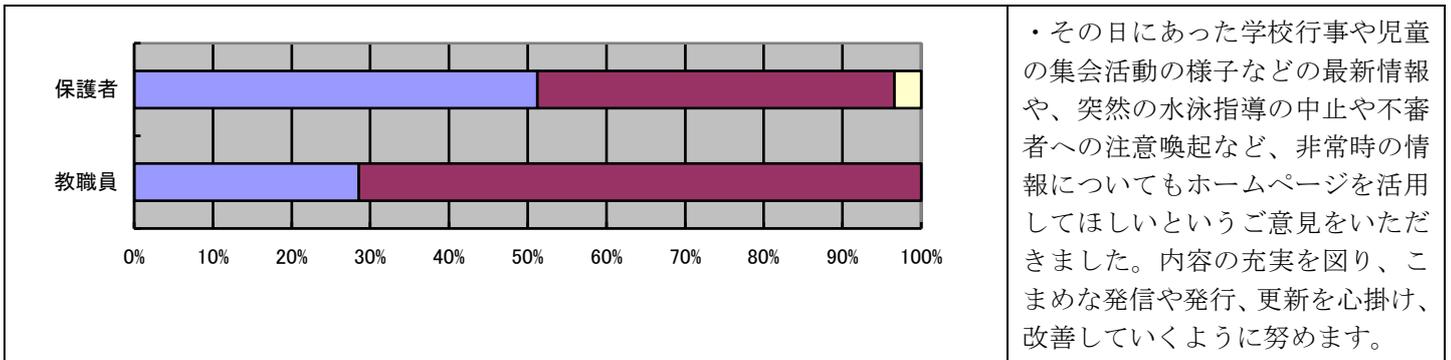
(9) 子供たちは、休み時間や放課後など外に出て遊ぶ習慣が身に付いている



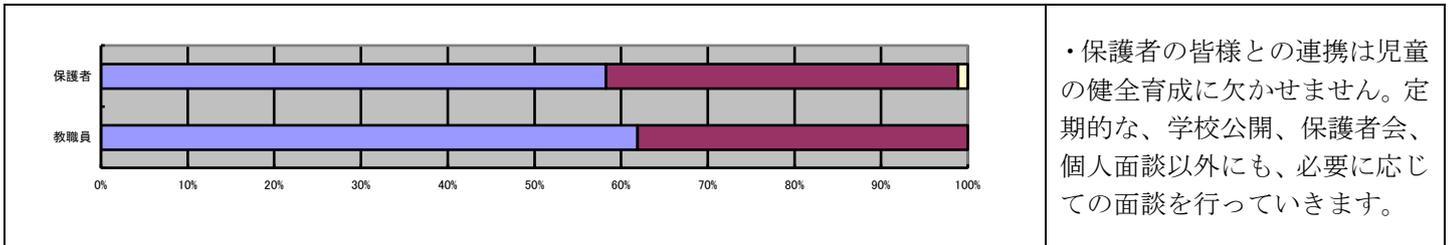
(10) 学校は、健康でたくましい心と体を育てるために食育の推進に努めている



(11) 学校は、ホームページや学校便り、学級通信等を通して、学校の取組をよく伝えている



(12) 学校は、学校公開、保護者会、個人面談を通して、保護者との共通理解を図るよう努めている



4 次年度に向けて取組の方向性

<子供が学ぶ楽しさや達成感を味わうことのできる学校>

(1) 計画に基づいた指導

「知識・技能の定着」「思考力・判断力の育成」「学びに向かう力・人間性の涵養」が新学習指導要領の3つの柱です。新学習指導要領の移行期の年間指導計画に基づいた指導を実施していきます。

(2) 基礎的・基本的な学習内容の定着

すすんで考え、表現・交流する学習の展開を図るとともに、学習の見通しがもてるように目的や方法が児童に分かる指導を目指します。特に国語科の「書くこと」に重点を置き、表現力や思考力の育成に努めます。また、地域未来塾や放課後教室の充実を図り、学習の基礎・基本を確実に定着させていきます。ご家庭と連携し、家庭学習の習慣化を進めます。

(3) 学習習慣の確立

「早宮の子のやくそく」の徹底を図り、挨拶や返事、話の聞き方や話し方、学習用具の準備など規律ある学習習慣の確立に努めます。

<健やかな心と体を育てる学校>

(1) 心の教育の推進

「あいさつ運動」を推進し、挨拶や返事がすすんでできるようにしていきます。また、道徳科教育の推進や「早宮の子のやくそく」の徹底を通し、相手の立場を理解し、すすんで行動する児童の育成に努めます。

「心のふれあい週間」の活用やいじめアンケートの定期実施などを通し、いじめや不登校の兆候を見逃さず組織として未然防止、早期解決を図ります。また、読書は学習の基礎となります。「書くこと」のためにも、豊かな心を育てるためにも読書活動を推進します。

(2) 体験活動の充実

児童相互の豊かな人間関係を築いていくために、縦割り班活動やロング集会など異学年交流の取組を継続していきます。また、地域の人材や外部講師を招いての体験活動の機会を通して、生きて働く学力が身に付き、自らの学びを深めていくことができるような学習の展開を図ります。

(3) 体力の向上

新体力テストの結果に基づいた実態把握を通して体育授業や体育朝会などの充実を図り、児童の体力の向上に努めます。新体力テストの結果は、分析してお示しします。また、オリンピック・パラリンピック教育の推進を通して運動に興味関心をもち、自ら運動に親しむ態度を育てます。

<地域に開き、保護者・地域に信頼される学校>

保護者の会や練馬区青少年育成第二地区委員会、早宮3,4丁目町会を始め、各町会の皆様との連携・協力をさらに深め、地域人材や地域の自然、文化、施設などを活かした学習活動を展開していくとともに、学校、保護者、地域で一体となった児童の安全確保に努めます。また、開進第一中学校や、開進第一小学校、近隣の幼稚園、保育園との連携にも取り組んでいきます。